



平成 29 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 東 海 カ ー ボ ン 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 長 坂 一
(コード番号 5301 東証第一部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 理 部 長 松 原 和 彦
(TEL. 03-3746-5100)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 9 日に公表しました平成 29 年 12 月期（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）の連結業績予想および配当予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 29 年 12 月期第 2 四半期連結業績予想値の修正（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1 株当たり 四半期純利益 |
|---|--------|-------|-------|--------------------------|------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 47,000 | 3,100 | 3,500 | 4,700 | 22.05 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | 49,184 | 4,228 | 4,924 | 5,854 | 27.47 |
| 増 減 額 (B-A) | 2,184 | 1,128 | 1,424 | 1,154 | — |
| 増 減 率 (%) | 4.6 | 36.4 | 40.7 | 24.6 | — |
| (ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 12 月期第 2 四半期) | 44,872 | △80 | △235 | △5,900 | △27.68 |

(2) 平成 29 年 12 月期通期連結業績予想値の修正（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|-------------------------------|--------|-------|-------|-------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 95,000 | 6,700 | 7,800 | 8,200 | 38.47 |
| 今 回 発 表 予 想 (B) | 98,000 | 8,500 | 9,700 | 9,100 | 42.69 |
| 増 減 額 (B-A) | 3,000 | 1,800 | 1,900 | 900 | — |
| 増 減 率 (%) | 3.2 | 26.9 | 24.4 | 11.0 | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成 28 年 12 月期) | 88,580 | 1,131 | 1,702 | △7,929 | △37.20 |

2. 修正の理由

(1) 第 2 四半期連結累計期間

売上高については、黒鉛電極の販売量増加に加えて、原材料価格の上昇に伴いカーボンブラックの販売

価格が上昇したことや為替が想定より円安で推移していること等から前回予想を上回る見込みです。営業利益は、カーボンブラックや黒鉛電極の増収効果に加えて、カーボンブラックの海外拠点における収益性向上や為替円安効果等により、前回予想を上回る見込みです。経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益も、営業利益と同様の理由で前回予想を上回る見込みとなりました。

(2) 通期

第2四半期連結累計期間の業績予想修正を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について前回予想を修正いたします。

3. 配当予想の修正について

| | 年間配当金 | | |
|----------------------------|--------|--------|----------|
| | 第2四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 前 回 予 想 | 4. 0 0 | 4. 0 0 | 8. 0 0 |
| 今 回 修 正 予 想 | 6. 0 0 | 6. 0 0 | 1 2. 0 0 |
| 前 期 実 績 (平成 28 年 12 月期) | 3. 0 0 | 3. 0 0 | 6. 0 0 |

当社は、「中長期的な企業価値の向上を図る上で、株主に対する利益還元も重要な経営課題と考えており、毎期の業績と業績見通し、投資計画、キャッシュフローの状況等を勘案しつつ、連結配当性向 30%を目安として、安定的・継続的に配当を行う」ことを利益配分に関する基本方針としています。

この方針に基づき、平成 29 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間および通期の業績予想および財務状況を総合的に勘案し、平成 29 年 12 月期中間および期末の配当予想を 4 円から 6 円に修正することとしました。

この結果、1 株当たりの年間配当予想は、前期比 6 円増配の 1 2 円となります。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以上